

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成28年12月13日
【四半期会計期間】	第25期第3四半期（自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日）
【会社名】	株式会社ユークス
【英訳名】	YUKE'S Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷口 行規
【本店の所在の場所】	堺市堺区戎島町4丁45番地の1
【電話番号】	072(224)5155
【事務連絡者氏名】	常務取締役 品治 康隆
【最寄りの連絡場所】	堺市堺区戎島町4丁45番地の1
【電話番号】	072(224)5155
【事務連絡者氏名】	常務取締役 品治 康隆
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第3四半期連結 累計期間	第25期 第3四半期連結 累計期間	第24期
会計期間	自平成27年 2月1日 至平成27年 10月31日	自平成28年 2月1日 至平成28年 10月31日	自平成27年 2月1日 至平成28年 1月31日
売上高 (千円)	3,955,428	3,210,464	5,277,250
経常利益 (千円)	1,249,031	110,859	1,302,121
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	793,922	69,870	815,878
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	804,497	67,662	819,476
純資産額 (千円)	3,804,113	3,800,243	3,819,092
総資産額 (千円)	5,443,643	6,027,467	4,969,187
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	91.77	8.08	94.31
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	69.9	63.0	76.9

回次	第24期 第3四半期連結 会計期間	第25期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成27年 8月1日 至平成27年 10月31日	自平成28年 8月1日 至平成28年 10月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	98.55	52.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期純利益又は当期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府による経済政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いております。一方で、新興国を中心とした海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響により、景気が下押しされるリスクはなお存在しております。

当社に関連するゲーム業界におきましては、据え置き型ゲーム機と携帯型ゲーム機の特徴を併せ持つ新型ハード「Nintendo Switch」や、高忠実度VR（仮想現実）および4Kゲームに対応した新型ハード「Project Scorpio（開発コードネーム）」が発表されております。また、プレイステーション4用として平成28年10月に発売され、対応ソフトが続々とリリースされている周辺機器「PlayStation VR」とともに、今後の展開に注目が集まっております。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、主力シリーズの最新作「WWE 2K17」（Xbox One・プレイステーション4・Xbox 360・プレイステーション3用）が平成28年10月に海外にて発売されております。

自社ソフトでは、ダウンロード専用タイトルである、ロボットファイティング/ボクシングゲーム「REAL STEEL」（Xbox LIVE・PlayStation Network用：平成23年10月発売）の販売を継続しております。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、3タイトルの画像開発プロジェクトが終了しております。

自社オリジナルコンテンツでは、AR（拡張現実）技術を駆使した、ウチダラボのキャラクタープロジェクト「AR performers」におきまして、平成28年4月に秋葉原で開催し、1,000人を集めたライブにおいて使用された楽曲のCDを8月に発売しております。また、平成28年11月には公式ファンクラブサイト「Artists Republic Supporters」を立ち上げ、平成29年1月に開催が予定されている「AR performers 1st A'LIVE」のライブチケットを、ファンクラブ会員向けに先行して抽選受付開始した他、文化放送のラジオ番組「A&G TRIBAL RADIO エジソン」内におきましてAR performersが出演するトーク番組「Amazing Radio Performers」を展開しております。その他、新たな事業展開の一環として、音楽権利ビジネスの根源である著作権、著作隣接権その他音楽にかかわる権利の取得および管理を集中的に行うための子会社「ユークスミュージック株式会社」を平成28年11月に設立しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,210百万円（前年同期比19%減）、為替差損が発生したため、経常利益は110百万円（前年同期比91%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（前年同期比91%減）となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、291百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4)経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

有価証券報告書(平成28年4月27日提出)の記載から重要な変更又は新たな発生はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,360,000
計	44,360,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成28年12月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,096,000	11,096,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,096,000	11,096,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成28年8月1日～ 平成28年10月31日	-	11,096,000	-	412,902	-	423,708

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年7月31日）にもとづく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年7月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 2,444,800	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,649,800	86,498	-
単元未満株式	普通株式 1,400	-	-
発行済株式総数	11,096,000	-	-
総株主の議決権	-	86,498	-

【自己株式等】

平成28年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
（自己保有株式） 株式会社ユークス	堺市堺区戎島町 4-45-1	2,444,800	-	2,444,800	22.03
計	-	2,444,800	-	2,444,800	22.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第3四半期連結会計期間（平成28年8月1日から平成28年10月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成28年2月1日から平成28年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,090,058	3,407,232
売掛金	567,894	1,258,676
商品	-	5,094
仕掛品	221,268	188,442
その他	160,324	218,266
貸倒引当金	364	158
流動資産合計	4,039,181	5,077,553
固定資産		
有形固定資産	78,607	65,842
無形固定資産	21,591	28,356
投資その他の資産	829,805	855,714
固定資産合計	930,005	949,913
資産合計	4,969,187	6,027,467
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	1,600,000
未払金	322,260	221,323
未払法人税等	432,608	13,096
前受金	74,113	63,305
賞与引当金	95,512	158,002
その他	97,321	35,549
流動負債合計	1,021,815	2,091,278
固定負債		
長期末払金	62,200	62,200
退職給付に係る負債	65,828	73,494
その他	250	250
固定負債合計	128,278	135,944
負債合計	1,150,094	2,227,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	3,689,306	3,672,665
自己株式	738,303	738,303
株主資本合計	3,796,122	3,779,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,236	20,905
為替換算調整勘定	6,733	144
その他の包括利益累計額合計	22,969	20,761
純資産合計	3,819,092	3,800,243
負債純資産合計	4,969,187	6,027,467

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
売上高	3,955,428	3,210,464
売上原価	2,098,289	2,073,830
売上総利益	1,857,138	1,136,633
販売費及び一般管理費	644,292	747,889
営業利益	1,212,846	388,743
営業外収益		
受取利息	10,332	22,891
受取配当金	1,082	689
為替差益	23,106	-
その他	2,847	2,897
営業外収益合計	37,369	26,477
営業外費用		
支払利息	1,071	1,181
為替差損	-	303,154
その他	113	26
営業外費用合計	1,184	304,361
経常利益	1,249,031	110,859
税金等調整前四半期純利益	1,249,031	110,859
法人税等	455,109	40,988
四半期純利益	793,922	69,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	793,922	69,870

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	793,922	69,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,869	4,668
為替換算調整勘定	705	6,877
その他の包括利益合計	10,574	2,208
四半期包括利益	804,497	67,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	804,497	67,662
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日)
減価償却費	30,563千円	25,351千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年4月28日 定時株主総会	普通株式	86,511	10	平成27年1月31日	平成27年4月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年4月27日 定時株主総会	普通株式	86,511	10	平成28年1月31日	平成28年4月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成27年2月1日至平成27年10月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成28年2月1日至平成28年10月31日）

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年2月1日 至平成27年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年2月1日 至平成28年10月31日）
1株当たり四半期純利益金額	91円77銭	8円08銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 （千円）	793,922	69,870
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額（千円）	793,922	69,870
普通株式の期中平均株式数（株）	8,651,129	8,651,129
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年12月5日

株 式 会 社 ユークス
取 締 役 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

松尾 雅芳 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

矢倉 幸裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユークスの平成28年2月1日から平成29年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年8月1日から平成28年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年2月1日から平成28年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユークス及び連結子会社の平成28年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。